

会議録（要点筆記）

会 議 名	第4回米原市総合計画審議会
開 催 日 時	平成27年9月17日（木） 午後7時00分～午後8時30分
開 催 場 所	米原市役所米原庁舎 会議室2A
出席者および欠席者	出席者：岩崎恭典委員長、鶴飼修委員副委員長、西林正夫委員、振角大祐委員、川崎祐七委員、小竹一男委員、竹中礼子委員、田中雄一委員、鏝田鉄雄委員、富岡尚子委員、中野民子委員、福永ひろみ委員、安田智枝美委員 事務局：山田英喜政策推進部理事、政策推進課：小寺真司課長補佐、森川誠、川瀬雅史、関沢匡司 傍 聴：2人 欠席者：北川学委員、森嘉信委員
議 題	・ 前回のまとめ ・ 第2次総合計画施策体系の方向性について（ワークショップ）
結 論	・ 第2次総合計画施策体系の方向性を検討するワークショップを開催し、これまでの審議を振り返りながら、米原市の特徴を生かした基本理念や将来像の方向性について検討した。
審 議 経 過	1 開会 （事務局から開会あいさつ）  2 あいさつ （会長から開会あいさつ）  3 議事 （1）前回のまとめ 【事務局から前回の概要を説明】  （2）第2次総合計画施策体系の方向性について 【事務局からワークショップの趣旨説明】 ・ 今回の審議会は、第2次総合計画の施策体系を検討する前段として、基本理念、将来像の方向性を検討するワークショップを行うことを説明した。  【まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連説明】 ・ これに関連して、ワークショップに先立ち「次第4 その他（1）今後の進め方について」を資料4、資料5によって説明した。まち・ひと・しごと創生総合戦略で定める人口減少の克服に向けた取組や施策の内容、評価の仕組みは、第2次総合計画においても重視しなければならない課題であるため、第2次総

<p>会長</p>	<p>合計画と、連携・連動を図りながら計画づくりに取り組む必要があることを説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この計画は10月末の完成を予定しているため、その完成を待って第2次総合計画の施策体系を検討するが、第2次総合計画の策定スケジュールは、当初の予定どおり今年度末に原案を策定する予定であることを説明した。</li> </ul> <p><b>【事務局から資料1、資料2、資料3の説明】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1のとおり、これまでの審議の経過を振り返り、市民意識調査等の結果速報や、7月20日、8月2日に開催した市民ワークショップについて説明し、審議会の意見と議論の方向性を確認した。</li> <li>・資料2のとおり、これまでの審議会で議論された将来に関連するキーワードとして事務局が整理したものを参考資料として説明した。</li> <li>・資料3のとおり、現在の総合計画の施策体系を説明し、今回の審議会では、10年後に米原市がどのようなまちになっていくべきかを考えながら、みんなで共有できる将来の米原市を検討するため、ワークショップで将来像、基本理念の方向性を検討することを説明した。</li> </ul> <p>事前に3つぐらいのキーワードを考えていただくよう依頼させていただきました。現在の総合計画では、将来像「自然きらめき ひと・まち・ときめく 交流のまち」とし、「人が元気」、「まちに活力」「風土に愛着」という基本理念を掲げて施策を進めてきました。今までは、施策レベルで課題を見つけてきましたが、その御意見を踏まえ、次の10年の間にどういうまちを目指すべきか、それを支える理念を考えていきます。</p> <p>市民意識調査や小中学生アンケート、市民ワークショップでも様々な意見が出ていますが、それらを含めて、皆さんでワークショップを行い、基本理念や将来像のたたき台を作っていこうと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>(ワークショップ開催準備)</p>
<p>副会長</p>	<p>基本理念でも将来像でも構いません。分けて考える必要はありませんが、意見を誰が書いたのかわかるように名前を付けてください。</p> <p>米原市らしさをイメージして、付箋に1枚に1項目、思いつくまま記載してください。ある程度書けましたら、一枚ずつ発表しながら付箋を模造紙に張り出してください。提出いただいた内容を見て、書き足していただいても結構です。</p> <p><b>【審議会委員を2グループに分けてワークショップを実施】</b></p>
<p>会長</p>	<p>各班でどのような議論があつて、どのような意見となったか報告していただき</p>

委員

たいと思います。

・ Aグループワークショップ意見一覧

分類	内容
プライド	つよく（自立心）
	その人らしく
	米原に自信をもつ
	みんなで創る
	市民主体のまちづくり
	誇りを持てるまち
豊かさ	美味しいまち
	豊かさが実感できる
	やさしさ
	おもてなし
	おもてなしに強いまち
わくわく	豊かな心を持つ
	にぎわいのあるまち
	ワクワクするまち
	たのしい街
	暮らしが活きつき
	元気な街
チャレンジ	小中学生から気軽にあいさつできるまち
	可能性のあるまち
	チャレンジできるまち
	夢を持てるまち
	仕事が創れるまち
駅	夢のかなえられる街
	鉄道マニアの聖地
	えきのまち米原
	交通の要所、米原
若者	電車、新幹線、ディーゼル、蒸気、すべての車両が集まる町
	降りてみたい駅、米原駅に
	地域における若者たちの活躍の場づくり
子供	若者が住む町
	若者に補助金が出るまち
交流	日本1の学力の町
	きらきら輝く町、子どもたち
	絆づくり、おとなりさん
自然・文化	ふれあいの里、米原市
	地域の異年齢の交流づくりから他の地域との交流へ
	自然と文化が輝き
	歴史を守り続ける
	自然と共に
	山歩きが気軽にできる（山道の整備やアピール、発信など）
くらし	もりのようちえん（自然や学び）
	やすらぎと自然
	自然の大切さ
	子どもたちの遊び場がある
	便利な田舎
	田舎でいい
健康	ずっと住みつづけたい町
	魅力あるまち
	災害に強い町
	住み続けたいまち
	安らぎがある
	寿命日本1の町へ
	安全・安心なまちづくり

米原市の生活の基盤としては、健康や暮らしや自然、これが米原市で住む、暮

会長

らすことの基盤ではないかという意見でまとまりました。こうした生活の基盤がある中で、駅や若者や子どもというのが米原市のポテンシャル、希望ではないかと考えています。そして、希望や夢、駅や若者や子どもにより希望を持ってもらう。そして、力強く後押しできるように、今のわれわれが米原市に対して豊かさやプライド、わくわくする気持ちやチャレンジする気持ちを持つ必要があると思います。そのような議論になりました。

ありがとうございました。

委員

・ Bグループワークショップ意見一覧

分類	内容
基本理念	「ひとつ」の米原
	特徴のあるまちづくり
	変革・前進
	新しい価値
	未来への種まき
	生みだす、創りだす、思いを実現できる、可能性・自由さを感じられる
	創造
	みんなで作る米原市 活力ある町（にぎわいの町）
総働（社会とのつながり）	人が燃えるまち
	協働から総働
	適度に稼いでちゃんと納税
	だれもが地域社会で役割をもつ
	よく働く、誰にでもできることがある
生涯現役	ふとこ（サイフ）にやさしい（財政が健全）
	お年寄りにやさしい、高齢化対応ができて安全・安心な町づくり
	すべてが「健康」（・食べ物・くらし方・体・人とのつきあい・仕事）
	健やかな心と体を育てる町
	よく遊ぶ、人生を楽しめる
子ども・若い世代	健康都市、米原（福祉・財政・自然）
	若い世代（子育て世代）
	近くに働く場所
	子どもが育つまち、子どもが夢をもつまち
目指すまちの姿	ベッドタウン（若い人が多くいる）
	心豊かな町
	人の温かさ
	外国人の住みやすい町
	育ちあう
歴史・文化	住み続けたいまち
	住みたい・住み続けたいまち
	生きるための智慧が伝承されている
交通拠点	長い歴史（時の流れ）の中の自分を意識できる、くらし
	歴史
	観光を産業に
	富めるまち
	災害に強い町
	交通都市米原（経済発展・北陸新幹線）
自然と共生	海にも山にも街にも近い
	地球にやさしい（自然との調和のとれた町づくり）
	自然と共にあるくらし
	自然、人、文化
田園都市、米原（自然保護の上の経済発展）	
共生	

こちらでは、みんな働いて稼ごうではないかという話が出ました。基本理念と

	<p>してまとめたところは、一番上に「一つの米原」。相変わらず旧町の4つという雰囲気もあるので、やっぱりひとまとまりという感じになればいいなど。その辺も含めて、特徴があるとか、変革、前進、新しい価値や、創り出す、生み出すとか、思いを実現できる可能性とか、みんなで創るところが基本理念になりました。</p> <p>総働という言葉ですが、社会の中でみんな役割があるという意味です。どこかの会社に勤めて働くということだけではなく、子どもであっても高齢者であっても、それぞれに果たす役割があるというところで総働という言葉が出ています。</p> <p>生涯現役ですが、全てが健康でお年寄りに優しいと出ていますが、優しいというのも、やっぱりその人が生きる場所があるという意味での優しい。それから人生を死ぬまで楽しめる。健康で活躍する場があって楽しめるというところ。働くというところはみんなとつながっていくのですが、子どもや若い世代の人、やはり近くに働く場があるとか、交通の便がいいのでベッドタウンという意味もあるかなという話もあります。子どもが育つ、夢を持てるまちというのは大事なところ。それから、交通拠点として前から言っていますが、重要なところだと思います。これがあるので、観光も考えられるというところ。海にも山にもまちにも近いというところは、交通の便の良さを具体的に示したところ。</p> <p>歴史文化はずせません。これを知りながら子どもたちも育っていく。ここでの生きる知恵も伝わっていくというところ。</p> <p>自然環境についても、自然豊かなところがいいところというのは、みんなが認めるところだと思いますので、自然とともにある暮らし、人間が勝手にするのではなく、自然とともにある暮らしができるというところ。こういうものがあって、目指すまちの姿として、やはり人の温かさや心豊かというものがあり、外国人にも住みやすいということもあっての住み続けたいまちになるとまとめました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。まったく別のグループでしたが、結構、共通することがありました。駅の話であるとか、色々共通する部分は出てきました。そこが今度の総合計画の理念であるとか、将来像をつくる時にはキーワードになっていくんだろうと思います。本当にごくごく限られた時間で話し合ってくださいましたが、私も見ていて楽しかったというのがあります。</p> <p>これをどう生かすかも含めて、今後の進め方について御説明願います。</p>
事務局	<p>今日いただきました意見等、これまでの議論を踏まえて、次回は施策の体系について整理していきたいと思います。10月末に総合戦略が完成する予定のため、それを踏まえて事務局から案をお示ししたいと思います。次回は12月初旬ぐらいになると思います。会長、副会長と相談させていただいて、皆さんに日程等を</p>

	<p>お知らせさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>次は12月初めの予定ということですが、もちろん会長さんや事務局の都合のよい日にされると思いますが、できましたら、第二希望ぐらいまで候補が欲しいと思います。</p>
事務局	<p>会長、副会長の日程の都合もありますが、検討したいと思います。</p>
副会長	<p>(副会長から閉会あいさつ)</p> <p>ワークショップをやるという話を聞いて、どうなることかと思いましたが、楽しい話し合いができました。話を聞いて私が思うには、米原の特長は何かということ常を頭に置いていただきながら、施策としてその特徴を徹底的に生かした方がいいと思います。先ほどこちらのグループでは説明しましたが、キーワードが色々出てきて、駅というキーワードがあって、駅を生かすのだったらほかのキーワードを全部くっつけるような、これをやる時は全部駅につなげるとか、そういうようなことをやっていかないと、なかなか特徴が生きてこないと思います。そのような施策が生まれてくると米原らしいものができるのではないかと思います。</p>
会長	<p>本日は、これまでとさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。</p>